



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社海帆 上場取引所 東
 コード番号 3133 URL http://www.kaihan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久田 敏貴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小島 聡 TEL 052-586-2666
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,526	4.4	△54	—	△55	—	△78	—
29年3月期第1四半期	1,462	7.7	△14	—	△16	—	△12	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △78百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△21.90	—
29年3月期第1四半期	△3.38	—

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。29年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	3,325	780	23.5	218.85
29年3月期	3,555	866	24.3	242.75

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 780百万円 29年3月期 865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,316	6.8	35	123.8	31	38.0	98	1546.4	27.60
通期	6,536	3.1	82	172.1	74	51.5	45	334.2	12.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	3,566,400株	29年3月期	3,566,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	3,566,400株	29年3月期1Q	3,566,400株

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。29年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が雇用環境の改善等を背景に緩やかに持ち直していること、貿易収支の黒字幅が縮小しているものの輸出が好調を維持していること、企業収益が円高の一巡や海外経済の回復に伴い改善していること等により、緩やかな回復基調が続いているといわれるものの、消費者物価が上昇に転じ、今後実質所得の低下から消費が低迷する状態が予想されております。

当社グループが属する外食業界におきましては、人手不足感はさらに高まり、原材料の高騰や、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得の激化による経費の増加が利益を圧迫し、各社の経営は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、5月に「北浜酒場 魚'S男」(大阪市中央区)、6月に「上方御馳走屋うるる 名駅柳橋市場店」(名古屋市中村区)及び新業態となる「オリーブオイルキッチン 静岡パルコ店」(静岡市葵区)を新規に出店いたしました。また、4月には「大須二丁目酒場 名駅店」(名古屋市中村区)・「ゆずの雫 姫路駅前店」(兵庫県姫路市)・「BARON 姫路駅前店」(兵庫県姫路市)をそれぞれ建物等の事情により、5月には「Briccone」(名古屋市中村区)を営業譲渡により閉店いたしました。この結果、平成29年6月末現在108店舗(前年同四半期末は99店舗)を運営いたしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,526百万円(前年同四半期比4.4%増)、営業損失54百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)、経常損失55百万円(同経常損失16百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円)となりました。当第1四半期連結累計期間においては、計画どおりではありますが、閉店及び店舗のリニューアルを積極的に進めていることに加え、前年同四半期に比べ材料費高騰により売上原価率が高いことにより、営業損失となっております。

(注) 当社グループの報告セグメントは飲食事業のみであり、その他の重要性が乏しい事業につきましては記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,325百万円(前連結会計年度末比230百万円減少)、負債は2,544百万円(同145百万円減少)、純資産は780百万円(同85百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し1,536百万円となりました。これは、現金及び預金が新規出店の設備や経費の支払い、法人税・消費税の納税等により193百万円減少したこと等が主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し1,786百万円となりました。これは、閉店による設備資産の売却・廃棄及び減損損失によって有形固定資産が53百万円減少したこと等が主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し1,316百万円となりました。これは開閉店費用の増加により未払金が55百万円増加したこと等が主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し1,227百万円となりました。これは長期借入金が90百万円、リース債務が54百万円それぞれ減少したこと等が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し780百万円となりました。これは利益剰余金が85百万円減少したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は23.5%(前連結会計年度末は24.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新規出店及び退店がほぼ計画通りに進んでいること、経費のコントロールが出来ていること等により、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

(※) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により上記予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,625	1,275,894
売掛金	46,566	35,714
商品及び製品	62,150	62,608
原材料及び貯蔵品	5,699	4,528
前払費用	67,164	67,342
未収入金	60,374	39,513
繰延税金資産	13,126	42,013
その他	11,350	9,709
貸倒引当金	△541	△469
流動資産合計	1,735,516	1,536,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	906,819	911,382
機械装置及び運搬具（純額）	22,710	21,917
工具、器具及び備品（純額）	80,952	84,543
リース資産（純額）	393,268	327,154
土地	29,737	29,737
その他（純額）	7,067	11,858
有形固定資産合計	1,440,555	1,386,593
無形固定資産		
のれん	2,355	2,208
商標権	2,222	2,117
ソフトウェア	493	926
その他	1,109	1,109
無形固定資産合計	6,180	6,361
投資その他の資産		
敷金及び保証金	325,311	347,537
繰延税金資産	24,136	24,139
その他	22,266	22,358
貸倒引当金	△253	△253
投資その他の資産合計	371,460	393,781
固定資産合計	1,818,196	1,786,735
繰延資産		
繰延資産	2,018	1,513
繰延資産合計	2,018	1,513
資産合計	3,555,731	3,325,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	308,570	315,044
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	365,185	364,678
リース債務	126,971	109,957
未払金	327,253	382,767
前受金	42,928	26,169
未払法人税等	25,410	9,759
賞与引当金	4,687	9,513
株主優待引当金	18,645	14,281
その他	79,283	70,277
流動負債合計	1,312,936	1,316,448
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	997,336	906,385
リース債務	298,380	243,559
資産除去債務	29,070	29,166
その他	14,935	11,705
固定負債合計	1,376,723	1,227,816
負債合計	2,689,660	2,544,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	193,760	193,760
資本剰余金	180,760	180,760
利益剰余金	491,215	405,984
株主資本合計	865,735	780,504
新株予約権	336	336
純資産合計	866,071	780,840
負債純資産合計	3,555,731	3,325,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	1,462,327	1,526,332
売上原価	412,637	448,495
売上総利益	1,049,689	1,077,837
販売費及び一般管理費	1,064,072	1,132,316
営業損失(△)	△14,382	△54,478
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	24
受取手数料	654	886
不動産賃貸料	1,285	1,285
その他	660	810
営業外収益合計	2,617	3,007
営業外費用		
支払利息	2,670	2,071
不動産賃貸費用	833	833
その他	851	887
営業外費用合計	4,355	3,791
経常損失(△)	△16,120	△55,263
特別利益		
固定資産売却益	8,813	4,754
その他	-	31
特別利益合計	8,813	4,786
特別損失		
固定資産売却損	177	9,799
固定資産除却損	1,074	23,687
減損損失	-	19,462
特別損失合計	1,251	52,949
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,558	△103,426
法人税等	3,490	△25,328
四半期純損失(△)	△12,049	△78,098
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,049	△78,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△12,049	△78,098
四半期包括利益	△12,049	△78,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,049	△78,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは飲食事業のみであり、その他の重要性が乏しい事業につきましては記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(特別損益の計上)

当社の経営する昭和食堂錦三丁目桜通り店及びうるる錦店について、建物の建替えにより撤退することとなったため、平成29年7月18日に明渡しました。これにより平成30年3月期第2四半期会計期間において、受取補償金222,150千円を特別利益に計上する見込みであります。